

連合福島第38回年次大会開かれる

福島の復興・創生に全力を尽くそう！

～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

連合福島第38回年次大会は、10月24日福島市のホテル福島グリーンパレスにおいて、役員・代議員など約200名が出席し開催された。

冒頭、澤田精一連合福島会長は『私たち働く者は、“良い仕事”、“良い職場”、“良い会社”、そして何より“良い社会”を作りながら、成果に結びつけるための努力を続けている。

その基盤の1つとして労働組合は存在するのであり、そのような期待を寄せられていることを自覚しながら、労働組合の価値を高めていく努力をしていかなければならない。

連合運動は、連合、連合福島だけの運動ではない。コロナ禍を経験したからこそ、連合福島、構成組織、地域地区連合が一体的に進めていくこと、連合福島に集う仲間の叡智を結集することが、連合運動の魅力化・強化につながる。

私たちが、連合運動の継承者であり、その歴史の先頭にいることの責任を自覚し、一丸となって運動をつなげていかなければならない。すべての働く人にとって連合福島・労働組合が「必ずそばにいる存在」となるべく、次世代を担う若い世代・女性の視点も取り入れ、連合の旗のもとで皆さんとともに運動を進めていく』と挨拶した。

続いて、来賓の北野真一連合本部副事務局長、佐藤宏隆福島県副知事、井口真嘉福島労働局長、馬場雄基立憲民主党県

連副代表、渡部優生国民民主党県連代表代行、狩野光昭社会民主党県連代表、瓜生信一郎県民連合会長から祝辞が述べられた。一般活動報告、会計決算報告については賛成多数で承認された。

第1号議案『2025年度運動方針補強（案）』には、自治労・鈴木代議員

及び電機連合・松原代議員から意見・要望があり、執行部の見解を以て賛成多数で決定された。第2号議案『2024年度剰余金処分（案）及び2025年度各種会計予算（案）』、第3号議案『必勝決議（案）』も賛成多数で決定された。第4号議案『役員の補充選出について（案）』では、2025年度の新役員体制が確認された。

最後に『すべての働く者のための労働運動を県内全域で力強く展開し、地域社会から共感・信頼される連合福島運動の実現に向け力をあわせ邁進していこう』とした大会宣言が採択された後、澤田会長のガンバロー三唱をもって第38回年次大会を閉会した。



挨拶する澤田精一会長



来賓挨拶 連合本部
北野真一副事務局長



会場代議員の様子



澤田会長のガンバロー三唱